

カンキツ幼木（温州みかん・湘南ゴールド・レモンなど）

【令和6年1月1日現在の農薬登録内容】2024版

※ 太枠は重要防除です。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
3月中下旬	かいよう病		ICボルドー66D 100倍(アビオンE 1000倍加用)又は コサイド3000 1000倍(クレフノン200倍加用)
4月上旬 ～ 4月中旬 (春芽伸 長期)	アブラムシ類 アゲハ類	劇	ダントツ水溶剤 4000倍又は モスピラン顆粒水溶剤 4000倍
	注) 新梢が伸びすぎると薬剤散布の効果が十分に発揮されないため、 新梢の長さが10cm未満の時期に散布すること。 尿素500倍の葉面散布は生育促進効果が高い。		
6月上旬 ～ 6月中旬 (夏芽伸 長期)	アゲハ類 ゴマダラカミキリ成虫 ミカンハモグリガ		エクシレルSE 5000倍
	アブラムシ類	劇	ダントツ水溶剤 4000倍又は スタークル顆粒水溶剤 2000倍又は モスピラン顆粒水溶剤 4000倍
	注) 新梢が伸びすぎると薬剤散布の効果が十分に発揮されないため、 新梢の長さが10cm未満の時期に散布すること。 尿素500倍の葉面散布は生育促進効果が高い。 かいよう病多発園ではコサイド3000 2000倍(クレフノン200倍加用)を散布する。		
8月下旬 ～ 9月上旬 (秋芽伸 長期)	アゲハ類 ゴマダラカミキリ成虫 ミカンハモグリガ		エクシレルSE 5000倍
	アブラムシ類	劇	ダントツ水溶剤 4000倍又は スタークル顆粒水溶剤 2000倍又は モスピラン顆粒水溶剤 4000倍
	注) 新梢が伸びすぎると薬剤散布の効果が十分に発揮されないため、 新梢の長さが10cm未満の時期に散布すること。 尿素500倍の葉面散布は生育促進効果が高い。 かいよう病多発園ではコサイド3000 2000倍(クレフノン200倍加用)を散布する。		

○定植後3年目までは全摘果し、4年目以降は主枝上部を全摘果。

○結実させない苗木の省力防除(アゲハ、ミカンハモグリガ)

- ・充実した春芽、夏芽、秋芽を伸ばすことが苗木の樹冠拡大につながりますが、芽の伸長中、アゲハ、ミカンハモグリガの被害が甚大です。
- ・芽の伸長時に、上記の殺虫剤散布の代わりにエクシレルSE100倍の散布をすることで、残効ながく(1か月半程度)害虫の防除ができます。

実をならせる樹には使用しないでください。苗木の農薬登録です。

・芽伸長時(春芽:4月下旬～、夏芽:6月中下旬～、秋芽:8月中下旬～)ミカンハモグリガ・アゲハ類

エクシレルSE 100倍(新芽が出た直後に、苗木全体にむらなく散布する。特に芽が出る部分)

注) エキシレルSEは、アブラムシへの効果が劣るため、アブラムシが多く見かけた場合、コルト顆粒水和剤4000倍(3回以内)を加用し、散布する。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」